

JA筑紫の自己改革

農業者の所得増大・農業生産の拡大

個別対応の強化

営農指導や営農相談などの体制を強化し、農産物の生産拡大と生産者の所得向上に取り組んでいます。また、担い手対応渉外(TAC)による訪問活動を行い、所得増大に向けた提案を行っています。



担い手の育成

新規就農者や後継者などを対象に、平成23年度から「ちくし農業塾」を開講しています。第8期生まで77名が修了し、生産部会への加入や農産物直売所「ゆめ畑」の出荷者として活躍しています。



農畜産物の拡大

地産地消を推進するため、新鮮で安全安心な農畜産物を提供する農産物直売所「ゆめ畑」を運営しています。出荷者と消費者の利便性の向上と、組合員の所得増大に取り組んでいます。



地域コミュニティ

食農教育活動

米・野菜づくりの収穫体験などを通して食の大切さや食を支える農業の役割を伝えています。



地域との交流

支店管内で行われるイベントへの参加や、グラウンドゴルフ大会、子ども向けのイベント「ちやぐりんフェスタ」など、地域の皆さまとの交流を深めています。



自己改革とは・・・

JAグループは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現するため、自らが改革を進める「自己改革」に取り組んでいます。

ふれあい活動

各支店を拠点にふれあい活動を実施し、地域とのつながりを強化。豊かで暮らしやすい地域づくりを行っています。

地域貢献

交通安全指導やボランティア活動などを積極的に行っています。



生活インフラ機能の発揮

地域貢献型の貯金・融資を提案し「子ども食堂」に寄付を行うことや、やすらぎ会館(葬祭)、デイサービスの運営など、多様な事業を総合的に展開することで地域農業の振興や地域づくりに努めています。



情報発信

組合員向け広報誌「ふあみーゆ」や地域住民向けコミュニティ誌「こみゆ」、各店舗で発行する「支店だより」、ホームページなど皆さまに「食」「農」「協同組合」の情報を発信し、理解促進を図っています。

